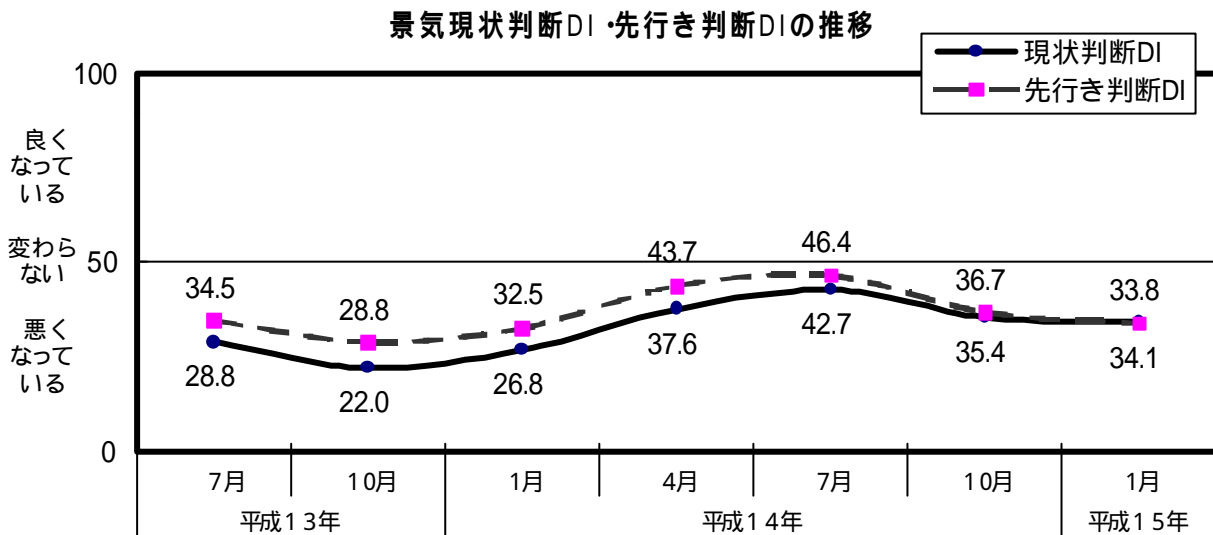


青森県景気ウォッチャー調査 (平成15年1月期)

調査期間 平成15年1月6日～24日 回答率 91%

概況

1月期は、現状判断DI・先行き判断DIとも2期連続して悪化し、横ばいを示す50を依然として下回っている。



平成13年7月は試行調査

平成15年1月

青森県企画振興部統計情報課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

(2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

(3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画振興部統計情報課 統計情報分析・利活用グループ
 TEL 017-734-9166(直通)又は017-722-1111(内線2179)
 FAX 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

県全体の動向

前期調査と比べると、「悪くなっている」と答えた人がやや増加したことにより、1.3ポイント減の34.1となり、引き続き横ばいを示す50を下回った。

判断理由をみると、一部に新幹線開業による影響があったとの声もあったものの、倒産・閉鎖が周囲で見られ空き店舗も埋まらないこと、来客数・客単価とも減少傾向にあること、良いニュースが少ないことによる不景気感・不安感増長などが挙げられていた。

分野別の動向

前期調査に比べて、全般的に悪化している。前期調査で大きく落ち込んでいた家計関連の飲食・サービスについては、やや回復した。

地区別の動向

前期調査に比べて、東青及び県南地区で「変わらない」が減少し「やや悪くなっている」及び「悪くなっている」が増加した一方、津軽地区では「やや悪くなっている」が減少した。

(2) 3か月後の景気の先行き判断DI

県全体の動向

前期調査と比べると、「悪くなっている」と答えた人がやや増加したことにより、2.9ポイント減の33.8となり、引き続き横ばいを示す50を下回った。

判断理由を見ると、消費者心理の冷え込み、倒産・失業や増税による家計圧迫、アメリカのイラク攻撃による影響などが不安材料として挙げられていた。八戸市内の大手スーパー撤退による影響を心配する声もある。

分野別の動向

前期調査に比べて、全般的に悪化している。

地区別の動向

前期調査に比べて、全地区で悪化している。県南地区では「変わらない」が増加したものの、東青及び津軽地区では「やや悪くなっている」、「悪くなっている」が増加した。

2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=91

	平成14年				平成15年
	1月	4月	7月	10月	1月
合計	26.8	37.6	42.7	35.4	34.1
家計関連	30.6	38.1	41.2	34.2	34.8
小売	28.6	36.5	40.5	34.8	29.8
飲食	43.8	41.7	35.0	27.3	37.5
サービス	28.8	38.0	43.3	33.7	39.0
住宅	20.8	37.5	45.8	45.8	35.0
企業関連	11.1	36.1	45.8	36.1	29.2
雇用関連	28.6	37.5	50.0	46.4	39.3

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成14年 1月	0.0	8.2	22.7	37.1	32.0
平成14年 4月	1.1	7.7	45.1	33.0	13.2
平成14年 7月	1.0	9.4	55.2	28.1	6.3
平成14年 10月	0.0	5.2	41.7	42.7	10.4
平成15年 1月	1.1	4.4	39.6	39.6	15.4

(2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n=91

	平成14年				平成15年
	1月	4月	7月	10月	1月
合計	32.5	43.7	46.4	36.7	33.8
家計関連	32.6	42.2	46.2	36.3	34.8
小売	30.4	38.5	44.8	34.8	31.7
飲食	35.4	41.7	47.7	35.4	30.0
サービス	34.6	44.6	47.1	35.0	37.0
住宅	29.2	50.0	45.8	50.0	50.0
企業関連	27.8	47.2	45.8	33.3	27.8
雇用関連	42.9	50.0	50.0	50.0	39.3

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成14年 1月	0.0	4.1	46.4	24.7	24.7
平成14年 4月	0.0	9.9	61.5	22.0	6.6
平成14年 7月	0.0	13.4	63.9	17.5	5.2
平成14年 10月	0.0	7.3	45.8	33.3	13.5
平成15年 1月	0.0	3.3	46.2	33.0	17.6

3. 地区別の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

< 東青地区 >

DI

n=28

	平成14年				平成15年
	1月	4月	7月	10月	1月
合計	23.3	37.0	49.1	37.5	29.5
家計関連	25.0	38.8	47.6	37.0	29.8
小売	25.0	39.3	50.0	38.9	34.4
飲食	33.3	50.0	25.0	16.7	8.3
サービス	22.2	37.5	50.0	38.9	30.6
住宅	25.0	25.0	50.0	50.0	50.0
企業関連	6.3	37.5	56.3	43.8	18.8
雇用関連	33.3	25.0	50.0	33.3	41.7

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成14年 1月	0.0	0.0	30.0	33.3	36.7
平成14年 4月	0.0	11.1	44.4	25.9	18.5
平成14年 7月	3.6	10.7	64.3	21.4	0.0
平成14年 10月	0.0	3.3	53.3	33.3	10.0
平成15年 1月	0.0	0.0	39.3	39.3	21.4

< 津軽地区 >

DI

n=27

	平成14年				平成15年
	1月	4月	7月	10月	1月
合計	34.5	42.3	42.5	33.6	38.9
家計関連	41.7	40.8	38.6	32.1	40.8
小売	44.4	43.8	36.1	33.3	22.2
飲食	41.7	41.7	33.3	16.7	62.5
サービス	46.4	37.5	43.8	35.7	66.7
住宅	12.5	37.5	37.5	37.5	25.0
企業関連	8.3	45.8	54.2	33.3	37.5
雇用関連	37.5	50.0	50.0	50.0	25.0

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成14年 1月	0.0	20.7	20.7	34.5	24.1
平成14年 4月	3.8	11.5	42.3	34.6	7.7
平成14年 7月	0.0	13.3	50.0	30.0	6.7
平成14年 10月	0.0	6.9	27.6	58.6	6.9
平成15年 1月	3.7	11.1	37.0	33.3	14.8

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成14年				平成15年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	22.4	34.8	39.7	36.6	31.9
家計関連	25.0	35.5	40.0	35.5	31.3
小売	15.6	34.4	34.4	34.4	31.3
飲食	66.7	33.3	50.0	37.5	41.7
サービス	17.9	33.3	39.3	32.1	25.0
住宅	25.0	50.0	50.0	50.0	37.5
企業関連	17.9	28.6	35.7	32.1	28.6
雇用関連	12.5	50.0	50.0	62.5	50.0

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成14年 1月	0.0	6.9	13.8	41.4	37.9
平成14年 4月	0.0	3.6	46.4	35.7	14.3
平成14年 7月	0.0	3.4	65.5	17.2	13.8
平成14年 10月	0.0	3.6	50.0	35.7	10.7
平成15年 1月	0.0	0.0	41.4	44.8	13.8

< 下北地区 > (参考)

D I

n=7

	平成14年				平成15年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	27.8	35.0	33.3	30.6	42.9
家計関連	31.3	36.1	34.4	28.1	45.8
小売	25.0	16.7	41.7	25.0	50.0
飲食	33.3	41.7	25.0	41.7	50.0
サービス	33.3	50.0	33.3	16.7	41.7
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	0.0	25.0	25.0	50.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成14年 1月	0.0	0.0	33.3	44.4	22.2
平成14年 4月	0.0	0.0	50.0	40.0	10.0
平成14年 7月	0.0	11.1	11.1	77.8	0.0
平成14年 10月	0.0	11.1	22.2	44.4	22.2
平成15年 1月	0.0	14.3	42.9	42.9	0.0

(2) 3 か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

DI

n=28

	平成14年				平成15年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	30.8	42.6	48.3	37.9	34.8
家計関連	31.5	41.3	47.7	37.5	36.9
小売	19.4	46.4	50.0	36.1	46.9
飲食	41.7	25.0	41.7	33.3	16.7
サービス	38.9	43.8	46.9	37.5	33.3
住宅	37.5	37.5	50.0	50.0	50.0
企業関連	12.5	43.8	50.0	31.3	18.8
雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	41.7

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成14年 1月	0.0	3.3	43.3	26.7	26.7
平成14年 4月	0.0	7.4	66.7	14.8	11.1
平成14年 7月	0.0	13.8	69.0	13.8	3.4
平成14年 10月	0.0	0.0	69.0	13.8	17.2
平成15年 1月	0.0	0.0	57.1	25.0	17.9

< 津軽地区 >

DI

n=27

	平成14年				平成15年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	39.7	46.2	45.0	37.9	30.6
家計関連	39.3	44.7	44.3	38.1	30.3
小売	41.7	34.4	41.7	38.9	25.0
飲食	41.7	50.0	41.7	50.0	12.5
サービス	42.9	54.2	50.0	32.1	41.7
住宅	12.5	50.0	37.5	37.5	37.5
企業関連	37.5	50.0	45.8	33.3	33.3
雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0

回答別構成比(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成14年 1月	0.0	10.3	51.7	24.1	13.8
平成14年 4月	0.0	15.4	57.7	23.1	3.8
平成14年 7月	0.0	6.7	70.0	20.0	3.3
平成14年 10月	0.0	10.3	37.9	44.8	6.9
平成15年 1月	0.0	3.7	33.3	44.4	18.5

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成14年				平成15年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	27.6	42.9	46.6	37.1	37.1
家計関連	28.8	40.8	47.5	36.3	37.5
小売	28.1	37.5	46.9	28.1	25.0
飲食	25.0	50.0	58.3	41.7	58.3
サービス	28.6	33.3	42.9	35.7	35.7
住宅	37.5	62.5	50.0	62.5	62.5
企業関連	25.0	46.4	42.9	35.7	32.1
雇用関連	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成14年 1月	0.0	0.0	44.8	20.7	34.5
平成14年 4月	0.0	10.7	53.6	32.1	3.6
平成14年 7月	0.0	20.7	51.7	20.7	6.9
平成14年 10月	0.0	13.8	34.5	37.9	13.8
平成15年 1月	0.0	6.9	48.3	31.0	13.8

< 下北地区 > (参考)

D I

n=7

	平成14年				平成15年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	30.6	42.5	44.4	27.8	28.6
家計関連	28.1	41.7	43.8	28.1	33.3
小売	37.5	33.3	33.3	37.5	25.0
飲食	33.3	41.7	50.0	16.7	25.0
サービス	16.7	50.0	50.0	33.3	41.7
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	50.0	50.0	25.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成14年 1月	0.0	0.0	44.4	33.3	22.2
平成14年 4月	0.0	0.0	80.0	10.0	10.0
平成14年 7月	0.0	11.1	66.7	11.1	11.1
平成14年 10月	0.0	0.0	33.3	44.4	22.2
平成15年 1月	0.0	0.0	42.9	28.6	28.6

4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	津軽	観光型ホテル・旅館	お正月とスキーシーズンのため。
やや良くなっている	家計	津軽	観光名所等	新幹線開業の影響で、例年に比べ観光客の入込が多い。
			レストラン	営業内容の変更により売上げ少々上昇。
			タクシー	冬場に向けて、タクシーの稼働が上向いている。
	下北	レストラン	当店売上状態、昨年に比べアップ。町は忘・新年会客足まばら、活気ない。	
変わらない	家計	東青	商店街	年未年始のバーゲンセールも不調でした。各商店とも、売上は前年比ダウンのようです。
			都市型ホテル	売上げ状況も横ばいであること。周囲の状況も明るい情報もなく、やりくりの中でたえているという感じである。
			乗用車販売	先行き不透明。仕事があっても料金が安い（建設関係）。
			卸売業	失業者が増え、就職難が続いているから。
			衣料専門店	景気好転の兆しを感じさせる材料が見えていない中では、変化を予測できない。
			パチンコ	機会があってお客様方と話すと、異口同音に景気の悪さを持ち出しています。
			ガソリンスタンド	年末にも関わらず消費が増えていると思えない。
			設計事務所	変化がまったくなし。
		津軽	スナック	予約がほとんどないし、客足が少なくなっている。
			ガソリンスタンド	依然消費が低迷している。安くなければ売れないし、消費者も買わない。
			旅行代理店	業種間での格差が相変わらずみうけられます。
			卸売業	ある程度の公共工事の発注があったものの、落札価格（受注価格）の低迷により、思ったより状況が良化したとは思わない。
			衣料専門店	消費者の不況心理強く、買い控え多い。
		県南	都市型ホテル	新年（1月）は当社比では前年を上まわる。地域全体では変化はないと見ている。
			乗用車販売	まわりで特に大きな変化が見受けられない。低レベルでの推移している状況だと思う。
			レストラン	2月末で八戸大手スーパーが閉店になり、市内の経済がますます底冷えになると思う。
			パチンコ	収益の状況が減少までとは言えないが、横這状態である。また、失業者の増加が目立って来た様な気がする。

現状	分野	地区	業種	理由	
変わらない	家計	県南	コンビニ	売上・客数を月別で見ても、急激な伸長は見られず、数値的に一定している。～商品別での販促は実施しているが、企画・イベント商品の動向が今一つ悪い為。	
			住宅建設販売	ダンピング受注が多い。これは事業量減少が最も大きな要因である。	
			観光型ホテル・旅館	景気自体は変わらずに悪い。本当に旅行したいというお客様、従来の名古屋地区、大阪地区のお客様はほとんど見受けられない。	
		下北	スーパー	年末の買い物もひかえぎみだったが、人出の割に売上げと買い物点数が少なかった。	
			都市型ホテル	忘新年会の利用件数が減少。1件当りの予算が減少。	
			ガソリンスタンド	年明早々建設業の倒産があり（昨年建設業倒産の連鎖）、1-3月も建設業に倒産が続くと思います。特に公共事業が殆んどなく、不況があります。	
		企業	東青	食料品製造	引き続き消費マインドが鈍く、特売商品に偏った状況が見受けられる。
				津軽	広告・デザイン
			津軽	食料品製造	年末のお歳暮やカレンダー、前年より減っている。カレンダーは顕著にあらわれている。
	飲料品製造			荷動きに変化はない。	
	県南			建設	受注額において、対前年比30～50%減少している企業が大半で、加えて競争激化から粗利益率も悪化し、経営状態は厳しい状況にある。自社直営労働者の削減、賃金切り下げなどによりなんとかやり繰りしているといえる。
			電気機械製造	取引先の方の人達も、「2003年は中小企業にとって未曾有の不況・試練の年だ」との発言が聞かれる。国の政策や新聞報道の影響だと思いますが、周りの方々がこのような心境ではなかなか景気回復は難しいと思います。	
		広告・デザイン	現在の景気と3ヵ月前の景気という比べ方をすれば変わらないわけだが、基本的に見て3ヵ月前の景気が悪いわけですから、景気は決して上向いてはいない。		
	雇用	東青	人材派遣	アジア大会の開催にも景気を左右する様なことも見られず、現状で推移か。	
			新聞社求人広告	依然として良い材料が見当たらない。	
津軽		新聞社求人広告	正月期は小売のデパート、スーパーで購買力が高まり、いつになく好転したと聞く。しかし、また平常に戻った感があり、選挙、アジア大会が控えているにもかかわらず先が見えない。		
県南		人材派遣	求人募集に大きな変化を感じられないため。		
		新聞社求人広告	県南地区は大型店の閉店など暗い話題もあり、地元の広告（求人・営業・落成）の出稿は少なく企業の販促活動は停滞したまま。		
やや悪くなっている	家計	東青	観光型ホテル・旅館	忘・新年会の減少が目立つ。また、宿泊単価が安くなっており、利益につながらない。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	東青	美容院	料金の高い技術が少しずつ減少している。
			百貨店	売上の前年比状況が変わっていない。
			家電量販店	小売業の売上の状況 失業率
			旅行代理店	前年同時期に比較しても、取扱高、収益とも減っている。
			競輪場	車券売上げが減少している。
			観光名所等	年末にかけてメディア等がまるで良いニュースも流さず、ますます悪くなるようなニュースばかりを流している。これでは人々はお金を使うわけがない。
			一般飲食店	財布のヒモが固い。
			コンビニ	昨年までなら、元旦を含め正月は家族連れが多く来店し、客単価も高かったが、今年はかなり落ち込んだ。百貨店・スーパーも年末年始ほとんど変わらずの営業をしているのも原因。子どもの単価も落ち、お年玉は少なかった。
		津軽	家電量販店	年末・年始と、例年と比べて高額商品（大型テレビ、冷蔵庫、全自洗等）の売上が厳しくなっている。
			スーパー	売上点数が減少している。
	設計事務所		出入の業者間の話題でも、景気の話しかできません。その中での結果です。	
	商店街		前向きな話しや売上向上等の話題が聞こえてこない。加えて商店街への来街者も心なしか減少傾向にあるように思われる。	
	県南	住宅建設販売	デフレ傾向が全然改善されていない。物が売れない為、設備資金の需要もなく、反面金融機関は顧客より監督官庁のみに目を向け、中小企業者はその犠牲になっている。景気回復するはずがない。	
		旅行代理店	いろいろな会社を訪問しているが、仕事が少ない、あるいはほとんどないというところもあり、旅行どころじゃないというところが増えてきている。	
		観光名所等	お客様がお店に入っていない。	
		百貨店	12月は東北新幹線八戸駅開業でお客様の流れが一時的に変って、売上に影響が出たと考えられるが、1月に入ってから、お正月商戦はまずまずであったが、それ以降の来店客数状況を見ると、客数減となっており、お客様の購買意欲が低下していると見れる。この為、景気が下向き方向にあると考える。	
		一般飲食店	自店や同業種の状況を聞いても良いという所はない。12月の宴会も減り苦しい現況です。新幹線効果も街中にはあまり見受けられない。大型店の退店も不安材料にあるようです。	
		設計事務所	商工会議所関係の方々に、誰一人として景気が良く成っていると話す人は居ない。それだけで無く、自分の会社が何時まで持つか、心配している人が増えて来た。金融機関は貸してくれないそうです。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	県南	商店街	新幹線開業で一部業界（ホテル・旅行業等）に明るいきざしが見え始めてきたが、地域住民を主顧客とする小売業は、消費者心理の冷え込みや競争激化、デフレ等の要因により、相当体力を消耗している。
			一般小売店	昨年の冬のボーナスは八戸の民間企業の中では大幅な減額、もしくは出なかった所も多かったと聞いている。
			衣料専門店	公的年金税制問題や経済三団体の消費税上げ容認発言等で、消費者の財布の紐がゆるまない感じがする。
			卸売業	・新幹線開業、そして年末商戦と期待したが、依然として消費が弱く、目標売上を確保できなかった。
			スーパー	連続3ヶ月（実質17ヶ月）客単価前年割れ。客数は増えてもずっとこの傾向やまず、サイフのヒモは固くしまったままである。
			ガソリンスタンド	どちらから聞いても、品物が売れていない。
	企業	下北	タクシー	中小企業の経営悪化による失業者が、市内でも多くなっている。市の委嘱業務等の業者の赤字経営等、一般も行政も手の打ち方なしか？消費の落ち込みに、国、県、市共に歯止めを期待する。
				一般飲食店
		津軽	電気機械製造	3ヵ月前に比べ、徐々に受注が減ってきている。
			建設	新規受注が少ない。官公庁の発注量が少ない。
			経営コンサルタント	全体の6割の企業の売上が3ヶ月前と比べて下がり、デフレ傾向を示しており、特に飲食業、小売業及び不動産業が著しい。
		県南	紙・パルプ製造	紙の需要の前年比伸び率が3ヶ月前より鈍化している。株式相場下落が続いている、等。
			経営コンサルタント	デフレが深刻化し、購買意欲、先行きの不安、収入・所得の減少など経済環境が悪過ぎる。
		悪くなっている	家計	東青
タクシー	乗車回数の減少が止まらない（よって売上げも減少止まらず）。			
スナック	お客様からお話を聞いて、まず第一のことは不景気だから自粛するとの事。			
スーパー	客数、買上点数、平均単価共に前年より下落。			
津軽	百貨店		購買意欲が感じられない。	
	一般小売店		前の四半期が110%だったのが、今回は104%となり、しかも12月は前年を割り込んでいるので。	
	コンビニ		周辺事業所の閉鎖や人員整理が引続き目につく。昼間人口の減少が、さらに周辺の小売、飲食業に影響を与えていると推察される。	

現状	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	家計	県南	美容院	銀行の貸し渋り、消費が上向かない。
			タクシー	良くなる要素がなにもない。
	企業	東青	経営コンサルタント	土木・建設業を中心に業績の急激な悪化が目立つ。 企業収益もより一層厳しさを増してきており、企業体力も低下している。
		県南	食料品製造	加工食品の売上金、数量共に減。
			飲料品製造	価格主導で販売数量を誇っていたD・Sも、12月は前年割れとなった模様。一般店では年末が来なかったという声もあり、総消費が著しく落ち込んだ。
	雇用	津軽	人材派遣	友人・知人の中に、多く給与等の引き下げが行われている。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	津軽	観光名所等	今冬の状況から勘案して、津軽地区にも影響があることがわかる。年間を通して、昨年以上の入込があるものと思われ、受入側の体制づくりも課題となる。
		県南	レストラン	新幹線八戸開業記念として、八戸市内の飲食業では、グルメぐり冬編を1月18日～3月10日まで開催することになった。アジア冬季競技大会も開催され、少しは賑うと思う。
			住宅建設販売	マンション建設が具体化してきている。
変わらない	家計	東青	商店街	・東奥日報14年11月24日の記事<揺れる世界経済・デフレの世紀>。 ・テレビの情報番組、経済新聞記事は、<倒産しないように>です。どれを参考にとっても、当分「ガマン」の精神です。
			コンビニ	景気が良くなる材料もなく、海外の社会状況もあまりよくない点から。橋本の店の近くは空きビルが多く、ビルからの引越し（家賃の関係）も多い。店が開店した頃に比べ、かなり企業が撤退している。
			スーパー	各種の報道からも、良くなる要素が見当たらない。
			家電量販店	好転する材料が見当たらない。
			百貨店	変化する理由が見つからない。
			卸売業	企業自体が利益を上げられないから。
			一般飲食店	良くなる材料がない。
			都市型ホテル	景気回復への期待するものがない。逆に不安材料が多過ぎる。変わらないとしたのは、これ以上悪化しないで欲しいという気持からのものである。
			観光名所等	変わるネタが少ない。
			ガソリンスタンド	良くなる要因が見あたらない。
		設計事務所	好転する為の材料が見あたらない。	
		津軽	衣料専門店	北朝鮮の核制裁問題、激しく対立する米国・イラク。世界はきなくさい臭さを帯び、日本の経済変わらず。あと5年は景気良くなれないとの考え方あり。
			スーパー	お客様の衝動買も減少し、競合店を買回りしているのが現状です。
			都市型ホテル	婚礼・宴会の入り方が前年同期よりややにぶい。企業努力でカバーする意気込みで、「変わらない」。
			ガソリンスタンド	イラク情勢後のアメリカ次第で、良くも悪くもなるのではないが。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	住宅建設販売	もしかしたらもっと悪くなっているかも。政府、日銀とも傍観しているだけで回復するはずがない。当面の間、自己防衛するしか生き延びる道はないかも・・・。個人企業問わず。
		県南	観光名所等	お客様、横ばいと思う。
			パチンコ	2年前、1年前と比較しても何ら変わらないので、当分現状で推移すると思われる。
			一般飲食店	大型店退店で、中心街のパワーが劣り、更に郊外にと人の流れが加速し、空洞化になるのではと思われる。
			コンビニ	高卒・大卒での就職状況や、今後の雇用問題の改善等が見られない為。
			美容院	明るい見通しが無い。政治不信。
			一般小売店	景気を左右する大きな要因が見あたらない為。
			観光型ホテル・旅館	お客様の動向は“はやて”効果が多い。が、本来の観光客が少ない。
			設計事務所	経済団体が消費税の値上げを出しているが、小泉首相は同意していない。それでは何も変わらないのでは。何か対策を考えないとむしろ悪くなるのでは？
		下北	レストラン	消費税アップ、暮しは今以上に苦しく、悪くなって行くのでは。
	都市型ホテル		国が抜本的なデフレ対策を施さない限り、景気は上向くとは思われない。	
	タクシー		それぞれの業種が最大限努力して、悪いながらも現状維持するしか無し。今後冬期間は消費の拡大は期待出来ない。	
	企業	津軽	食料品製造	当社の飲食部門でも、正月だというのに客の入りは昨年比よりもかなり悪い。
			飲料品製造	高失業率。
		県南	飲料品製造	ビールメーカーからビールの新製品が出て来ません。各社新提案は発泡酒に集中しています。
			電気機械製造	冷静に見回せば堅調な動きをしている業種もあります（住宅リフォーム関連やリサイクル関連、一部の小売業など）。不況、不況といわれている中でも、新しい仕事はでてきているので、政策（改革）の進み方しだいでは、やや良くなるかもしれないと考えます。
			広告・デザイン	通常予定されている仕事の縮小や取りやめがある。
	雇用	東青	人材派遣	顧要拡大の動きもみられず期待薄い。
		津軽	新聞社求人広告	アジア大会の景気は期待できない。関係者が燃えているが、商店街へのメリットなしとの声多し。お金を持っている人と持っていない人が両極端に有りそう。お金を使いしづる傾向が続きそう。
			県南	人材派遣
新聞社求人広告		大型店の閉店などで八戸の中心商店街の空洞化が進みそう。屋台村のオープンなど明るい話題もあるが大きな変化はなさそう。		

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	東青	美容院	若年層のホームカラーが依然と多くなり、失敗でかけこむお客様が目につくが、程度により修復がむずかしいため、技術力でカバーしきれない場合がある。結果、失客になりやすい気がする。
			旅行代理店	商品に対するお客様の反応が悪い。直前でないと動きがなく、非常に予想しにくい(売上等)。
			衣料専門店	政財界筋に景況を急速に好転させる政策が見えていないから、更に限界にある自助努力頼みでは大きな変化も期待できないから。
			パチンコ	世界的に対イラク関係(米国を主に)対北朝鮮等、国内的には増税の話題、高卒者の就職難等、明るいニュースが少ない。
			競輪場	車券売上げが増える要素が見あたらない。
		津軽	スナック	古いお店など閉店する店が多くなって来ました。
			家電量販店	公的支出が増え、収入が同額又は減少となるので、消費は今以上に慎重になる為。
			卸売業	どうしても公共工事に依存している傾向があり、今後の入札が見えない状況にある為。
			商店街	金融機関の不良債権処理の強化が打ち出され、益々倒産企業及び失業者の増加が見込まれ、消費の低迷が更に強まると思われる。
			設計事務所	日本のリーダーがすべて保身に走っている。
		旅行代理店	15年度(4月以降)の政府の方針から推測すると、地方は益々リスクを背負うと思います。	
		県南	旅行代理店	特に建設関係は公共事業の減少が予想され、かなり危機感が強い。また、アメリカのイラク攻撃があれば、海外旅行だけでなく、国内旅行も手控えることが予想される。
			百貨店	国の景気対策に対する期待感が持てないことや、年明けしてから、消費税アップについて、TVで取りざたされたりで、景気が良くなる要因が見えてこない為。
			乗用車販売	政府が今の不景気を本気で何とかしようとする姿勢が見られないから。総理は大臣に丸投げで、経済の事が分らないのか、無関心なのか、先行きとても不安である。
			スーパー	世相が暗い。戦争とか、増税とか、希望もてそうなニュースが少なく、先行きに不安。消費より、使わず貯めるという意識が働くと思っている。しばらく続く。
	商店街		消費者心理の冷え込みや競争激化、デフレ等の要因のほか、政府の政策自体が医療費や消費税率の引き上げ、年金問題等、将来が益々不安になる気持ちにさせている。	
	ガソリンスタンド		良い材料が少ない。	
	下北	スーパー	まわりから聞こえるのは、年が明けても仕事がないと言う人たちの声が聞こえる。	
		ガソリンスタンド	3月迄は冬季ともなり、建設業は早々に一時休業と職員の失業保険に入ると思われます。特に銀行等は貸しづりが強く小企業者は大変です。	
	企業	東青	食料品製造	特に期待出来るファクターが見受けられず、逆に国の予算が消費に水を指すような動きが見られること。

先行き	分野	地区	業種	理由	
やや悪くなっている	企業	津軽	広告・デザイン	企業、個人問わず、この状況をどの様にして耐え凌ぐかの声ばかりで、良化するとは思えない。	
			電気機械製造	イラク、北朝鮮の問題や消費税の値上げなど、個人消費をマイナスさせる要因ばかりだから。	
			建設	新規受注が少ない。官公庁の発注量が少ない。	
			経営コンサルタント	長期間減少傾向であった建設業の売上が下げ止まり、卸売業と福祉関連が健闘しているが、小売業やサービス業の見通しが暗い。	
		県南	食料品製造	消費に活力を感じない。必要な物を買うだけで、楽しそうに買っている気がしない。	
			紙・パルプ製造	イラク情勢や北朝鮮核問題から国際的緊張が高まり、需要、為替、諸資材価格等への悪影響が懸念されるため。	
			経営コンサルタント	良くなる可能性・事由・切っ掛けが見当たらない。	
雇用	東青	新聞社求人広告	求人広告は少し動いてきたが、不動産・住宅設備、金融・保険が落ち込んできている。		
悪くなっている	家計	東青	スナック	全体がとにかく悪いですね。先が全然見えない状態です。良くなりません。一昨年より昨年が一番悪かったです。	
			レストラン	まわりの雰囲気「不景気」っぽい。また他府県の情報を聞いても、景気がよくなるような気がしない。	
			タクシー	総合的デフレ政策が見えず、不透明感が大である。	
		津軽	コンビニ	周辺事業所の閉鎖や人員整理が引続き目につく。昼間人口の減少が、さらに周辺の小売、飲食業に影響を与えていると推察されるように、スパイラル状態がさらに進行すると思われる。	
			一般小売店	昨年1～3月が絶好調だったので、今年は厳しい。12月に落ち込んでいるので、先行きは暗いと思われる。	
			レストラン	年末に帰省する人が少なかった。リストラにあいアルバイトが多いとの話。	
			観光型ホテル・旅館	イベントのない時期なので、人の出りが少ない。	
		県南	卸売業	・景気対策が見えない。 ・暗い材料だけが報道されている（株価低迷、不良債権処理等）。	
			タクシー	改革して成長なしと思う。	
			衣料専門店	1. 不良債権処理の加速でデフレ圧力が強まりそう。 2. アメリカ経済の減速又イラクとの問題がどうなるのか心配である。	
		下北	一般飲食店	東北新幹線が開業したからといって、下北まではこれからどうなるか分かりませんが、関係がないと思います。本当に今年も落ち込むと思います。新年からも、去年のお正月よりも人出が悪いです。	
		企業	東青	建設	不良債権問題が解決されないまま、米のイラク攻撃が始まると、原油価格の高騰等から、一点インフレ経となり、中小企業や国民生活に大打撃を与えるのではと心配しております。
				経営コンサルタント	冬季アジア大会の開催により、観光関連業種等においては、一時的な需要が見られるだろうが、全体的な波及効果は少なく、他に明るい話題も見つからない。

先行き	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	企業	県南	建設	公共事業の発注減が予想されており、元請・下請業者ともに仕事確保が心配されている。職員の賃金（給与・賞与）切り下げも多くの企業において実施されており（予定もあり）、景気悪化の要因となる。
		下北	食料品製造	実際の動き、商品等は悪くないが、メディアから伝わる雰囲気が悪くさせているような気がする。
	雇用	津軽	人材派遣	友人・知人の中に、多く給与等の引き下げが行われていることに加え、社会保険料の引き上げ、所得税の大幅改正等、国民にとっての不安材料は増すばかり。これでは景気が良くなるはずが無い！

5 . 参考

(参考 1) 景気の現状判断

D I

n=90

	平成 1 4 年				平成 1 5 年
	1 月	4 月	7 月	1 0 月	1 月
合 計	13.7	16.8	21.7	20.5	16.1
家計関連	16.7	18.3	21.9	23.2	16.9
小売	17.9	19.2	20.7	25.9	18.3
飲食	18.8	20.8	25.0	20.8	22.2
サービス	16.3	17.4	21.3	22.1	16.0
住宅	8.3	12.5	25.0	20.8	5.0
企業関連	4.2	11.1	15.3	9.7	13.9
雇用関連	7.1	16.7	35.7	20.8	14.3

回答別構成比 (%)

	良い	やや良い	どちらとも 言えない	やや悪い	悪い
平成 1 4 年 1 月	0.0	2.1	8.2	32.0	57.7
平成 1 4 年 4 月	1.1	0.0	8.8	45.1	45.1
平成 1 4 年 7 月	0.0	1.0	25.5	32.7	40.8
平成 1 4 年 1 0 月	0.0	4.2	11.6	46.3	37.9
平成 1 5 年 1 月	0.0	2.2	5.6	46.7	45.6

地区別 D I

	平成 1 4 年				平成 1 5 年
	1 月	4 月	7 月	1 0 月	1 月
合 計	13.7	16.8	21.7	20.5	16.1
東青	10.8	15.7	21.7	23.3	14.3
津軽	17.2	18.3	25.0	20.7	19.4
県南	12.9	13.4	19.0	17.0	11.6
下北	13.9	25.0	19.4	22.2	28.6

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	コンビニ	調査に関しては特にありませんが、店の周りはやはり損保関係のビルが多い為か、当店の客数にかなり変化があります。市内全体ではどのような状況なのか、もし調査に追加できれば、市内から撤収している企業、あるいは消えていった企業、こうした業者の業種別でよいのでわかる資料があれば、市内経済の調査に役立つのではないのでしょうか。こうした内容に近いものがあれば、勉強になります。
		スナック	経済に動きが有る事を希望します。国に対していいたいです。とにかく景気が良くなるとどうしようもないです。
		家電量販店	県外企業(小売業)の進出が進んでいる。
		パチンコ	景気の早く良くなる事を、調査の効果に念じてます(ご苦労様です!!)。
		レストラン	今、あまり投資をしても、それなりに売上げがのびるような気がしないので、「ハード」的な部分より、「ソフト」的(例えばサービスの向上)などに力を入れ、もう一度、自分の店を見直す意味でのチェックをしたいと思う。
		衣料専門店	調査期間(サイクル)が短くて、微少な変化を捕えての返答に少し戸惑っています。
		商店街	高齢者が郊外住宅地から新町方面の中心商店街の住宅を物色している行動があります(マンション建設を検討している建設業者が土地探し中です)。柳町周辺で!!
		都市型ホテル	国民に不安を与えず。もっと改革(行政など)の中で資金捻出は可能ではないのか。
		美容院	青森市の美容院が多いため、料金が下がり始めているように感じる。
	旅行代理店	よく、開業以来今までにないほど前年より悪い、という声を聞く。まだ先が見えない。	
	津軽	ガソリンスタンド	中央大手資本業者に何らかの規制をしなければ、地元の業者の存続が危うくなってきています。最後には地元の住民の不利益になると思います。
		レストラン	売上げの下降は私の業種ではあたりまえですが、その中で経営の変化をし、売上げを少しでも上げる様がんばっている。
		衣料専門店	弘前旧中心街の廃業が最近特に多く、シャッターを閉めており、銀行の管理下にあり。金融機関は迅速に対処すべきと思う。
		一般小売店	東京では、都心にマンションがどんどんできて、成約状況も大変よいということで、郊外から都心への回帰が目立つという。この動きが地方へも波及してくることを願っている。実際、青森駅前や弘前駅前のマンションは具体化しているし、弘前大手テナント跡等でも実現し、中心部の人口増につながることを切に願っています。
		家電量販店	昨年11月、50周年祭を開催したが、来店客数は多かった。但し客単価は若干下がっている。イベント(お客様が得をする)等の販促が更に重要になっている。
		観光型ホテル・旅館	個人企業がどんどん倒産して失業者が増え、先行き全く不安です。
		住宅建設販売	先日仙台往復八戸から弘前の特急に乗ったが、余りのみすぼらしさにガッカリした。こういう経済圏にいることに寂しさを覚えた。

分野	地区	業種	自由意見	
家計	津軽	設計事務所	新幹線は最初のめずらしさと一度乗車すると、リピータする人は津軽の人々では少ないと思います。	
		旅行代理店	就職難の中で前年より若干高卒の採用が上昇しておりますが、反面リストラも多数みうけられます。市内の商店のドーナツ化も進んでいっています。	
	県南	タクシー	新幹線開業により、冬にも関わらず多少の観光客が入って来てる様に思いますが？シャトルバス、シャトルタクシー、ホテル等と格安でばかりなるので、はたして活性化、景気には？と思う。	
		レストラン	この調査結果が後ほど送られてくるが、県全体の経済状況が良くわかり大変参考になっております。	
		一般飲食店	例年では有るが、各選挙が実施時は、必ずと言っていいくらい、売上が下降するので心配の種です。	
		観光名所等	青森県だと、まだまだ景気が悪いと思います。	
		乗用車販売	開業間近ということもあり、経済効果はかなり有るのではないかと思う。特に、みろく横丁「屋台村」はいつも満席で、地元の間でも入った事が無い位、大繁盛している。	
		設計事務所	所得税を廃止（徴収が困難、人員削減）ごまかす人が多い。消費税を値上げ（20%位）納めたくない方は買わなければ良い。段階的に上げ、今買わなければ高くなる意識を持たせる。	
		美容院	希望を持ちたいと思っている。皆さんもそうだと思います。したがって、政治も大事だと思う。	
		百貨店	1 / 1 5 より、大手スーパーが閉店セールをスタート。2 / 2 3 まで実施する。	
	下北	タクシー	知事選はどの候補者も短期での経済政策は無く、長期展望の表看板が目立つ。高卒、大卒者の新しい雇用の場を最大限に増やしていただきたい。地元雇用は地元消費につながる政策をお願いしたい。	
		レストラン	テレビ、新聞を見ていると不安です。景気対策、そして雇用の確保を考えてほしいです。	
		一般飲食店	東京の方は良くなっているといっていますが、下北はまだまだ悪いと思います。何の商売でも、良いと云っているのを聞いたことはありません。人通りもあまりありません。夜も、前は人通りとか車の行き来があったのに今は静かです。これからどうすれば良いか本当に悩んでいます。仕事をやめたいと思う時がたくさんあります。倒産するより、やめた方がプライドがたもてます。今年で46年です。	
	企業	東青	建設	新幹線がまだ八戸までしか来ないと考えず、青森県にやっと来たプラス思考を持つことにより、色々なことが考えられる筈。とにかく、青森県に多くの人に来て貰える様なことを、官・民併せて知恵を出すことが肝要です。
		津軽	飲料品製造	黒石市駅前から八間道路に新しい道路が開通した。便利だ。その交差点あたりに大型店が進出し、町が明るくなってたような雰囲気漂っている。八間道路は大渋滞になった。
			建設	・消費税の値上がりと言われてますが、どうなのか心配です。 ・新幹線はやっぱり青森市迄来てはじめて弘前には良いと思われます。
			経営コンサルタント	アジア冬季オリンピック大会の効果による景気への良い影響は一時的であり、むしろ緊迫した世界情勢の行方と政府の景気対策が本県の景気に多大な影響を与えらると思われる。
			広告・デザイン	課題の不良債権処理に関し、時期、スピードを誤れば、中小企業の倒産と失業ラッシュが起こるのでは？不安。
			電気機械製造	最近派遣会社の話として、社員が集まらずに困っているという話をよく耳にする。各企業が正社員を減らして派遣社員に切り替えたためなのだろうか？

分野	地区	業種	自由意見
企業	県南	飲料品製造	タバコが増税と決まって、私の年間消費は15000円程増える。が私はタバコを止めない。つくづく自民税調はエライと思う。
		経営コンサルタント	冬季アジア大会は県内の景気刺激の切っ掛けになるのかな。一部の地域だけが恩恵をうけているのではないですか。県費の無駄使い？
		広告・デザイン	「県外からの参入が色々あるらしい」という情報が届いている。八戸市にあった企業の支店、営業所等が、盛岡や仙台に統合されている。
		紙・パルプ製造	大手食品市場に新館が出来、集客力が増した様に思う。
		電気機械製造	生活関連の産業（住宅リフォームやガーデニング、本や家具のリサイクルショップ、外食関連など）は堅調な仕事量があるように思う。輸出をたくさんしている代わりに輸入を増やすような内需拡大ではなく、国内でつくり、国内で消費するように回っていくような内需拡大が本当は大事なのではないかと考えます。そう考えると、北九州にリサイクル工業ができていますが、その東日本版として、青森（又は岩手か秋田）にもリサイクル工業が成立する可能性が大いにあるように感じます。
雇用	東青	新聞社求人広告	県及び市町村合併をにらんで、広報予算縮減の方向にあり、市民生活にも影響が及ぶことを懸念しています。
		人材派遣	アジア大会関連での短期（2週間位）の派遣依頼があった。
	津軽	人材派遣	私は民間職業紹介所を経営しておりますが、最近めだって短時間労働者の求人が多くなっております。常勤雇用者にかかる人件費、法定福利費の軽減策と思われます。
	県南	人材派遣	求職者が多い。失業率が増えている、雇用の場がないので仕方がないとは思いますが、求職者の意識にも問題がある。職を選びすぎていたり、意欲が低すぎる。こういうことが、街全体の活気を下げている原因なのでは？